

内野選手が宇美町役場へ来庁されました



8月20日(火)に、内野選手が役場に来庁され、安川町長と対談されました。オリンピックのことや自転車競技のこと、今後の抱負など、終始和やかな雰囲気でお話されました。

町長

オリンピックお疲れ様でした。オリンピックの雰囲気はどうでしたか？

内野選手

オリンピックは特別で、会場の雰囲気もこれまでの世界大会とは全然違いました。

選手たちもここに合わせて仕上げてきますし、観客も各国から集まっています。盛り上がりもすごかったです。これがオリンピックだなと思いましたし、オリンピックのいいところだなと感じました。表彰式もすごく特別感があり、実際に目で見てきて、本当に勉強になりました。開会式にはトレーニングがあり、出ることができませんでした。閉会式には参加することができました。世界各国の他競技の選手と会うことができたのもオリンピックならではの思い出です。

町長

自転車競技以外の選手と会えるのは本当にオリンピックならではのですね。ニュースでは、選手村の食べ物がないなどの報道がありました。どうでしたか？

内野選手

日本選手団は、味の素ナショナルトレーニングセンターの施設が村外にあって、日本食を昼夜出してもらえました。日本はエアコンも設置してくれましたし、施設内にケアの器具や洗濯機もあり、食事も丁寧で、手厚くサポートをしてくれていたのが不便は感じませんでした。

体重もキープしなければいけませんし、選手村だけではコンディショニングを保つのは大変だったと思います。

町長

やっぱり、日本は施設も食べ物も選手のことを考えていますね。コンディショニングといえば、オリンピック期間中、内野さんのコンディショニングはよかったとインスタグラムで拝見しました。

内野選手

はい。どの大会でも楽しみとともに不安もあります。オリンピックは、どの大会よりも間違いなく一番いい状態で、自信をもって走れたので楽しかったです。



町長

オリンピックを最高のコンディションで迎えられるというのも、ひとつの才能かもしれませんね。

今回、内野さんを通して自転車競技を知って、初めて見た人もいると思います。内野さんが思う自転車競技の魅力はどんなところですか？

内野選手

45度の傾斜があるトラックを、「自転車」で速いスピードで走れることです。

ただ速く走るだけでなく、「位置取り」も大切で、「どこで体力を温存し、どこにいたら1着をとれるか」を考えて走っています。トラックの上からかぶさる様に走って位置を奪うなど、速さ以外の部分のルールも分かると、見るの

面白いなと思います。

対戦相手とは、レース中はバチバチですが、自転車を降りれば「お疲れ様」と健闘を称えあい、表彰では「おめでとう」と声をかけあっています。その時に、「ああ、スポーツっていいな」と思います。

町長

そういうところが、スポーツの良いところですよ。今回のオリンピックでも、国を超えた友情についての報道を目にするのが多かったように思います。内野さんの活躍を、宇美町の子どもたちもすごく応援していて、「ビデオメッセージや寄せ書きを送りました。先輩からオリンピックが出たことを誇りに思っています。ぜひ、学校でも子どもたちにその経験を話してほしいです。」

内野選手

私であれば、ぜひ。次は、メダルを持って帰ってきて、「スポーツっていいよ」と伝えられたら大成功かなと思います。オリンピックは本当に勉強になったし、こんないい機会をもたらえてよかったです。

町長

機会は、内野さんが自分でつかんだものです。また4年後、つかみに行ってください。宇美町はこれからも内野さんを応援しています。



メダルを持ち帰れたらよかったのですが・・・と、内野選手からパリオリンピックのキャラクター「フリーズ」のぬいぐるみが手渡されました。

ありがとうございます。今回、パシユートは日本で初めてオリンピックに出場しましたが、4年後もう一回出場して、日本もレベルが上がっているぞというのを世界に見せたいですし、個人ではオムニウム(個人種目)に出場したいです。そのために、これからまた頑張ります。今日は、本当にありがとうございました。

内野選手から応援してくださった皆さんへ

宇美町の皆さん、たくさんの応援ありがとうございました。応援が勇気になりましたし、うれしかったです。メダルを持ち帰れたかったのですが、今回叶わずに申し訳ない気持ちもあります。4年後はメダルを持ち帰りますので、それまで温かく見守って、応援していただけたらうれしいです。本当にありがとうございました。

